

■ グループ紹介

中外炉工業株式会社

1. 沿革

当社は1935年、谷川正夫が大阪市東区南久太郎町に設立した「中外工業所」を始まりとし、1945年には「中外炉工業株式会社」として改組、設立され、以来モノの生産プロセスに欠くことのできない熱技術を通して、あらゆる産業界の発展に貢献、熱技術の高度化に努力してまいりました。

1954年、米国サーフェス・コンパッション社との技術提携以降、国産第1号のバッチ式ガス浸炭炉を完成し、雰囲気熱処理法を本格的に日本国内へ普及させるなど日本の工業炉の近代化に努め、今では反対に技術輸出するまでに至っております。

熱技術は今、高温・高圧・真空を加えた複合技術として、基幹産業はもとより新素材、エレクトロニクス、複合材料など先端産業へと拡がり、また地球環境保全においても欠かせないものとなりました。今後とも企業の総力を結集し、活躍の場を拡げてまいります。

2. 会社概況

- (1) 資本金：61億7,672万円（1994年3月末日現在）
- (2) 従業員：800名（うち技術職500名）
- (3) 売上高：327億円（1994年3月末日現在）
- (4) 事業所：本社／大阪市西区京町堀2-4-7
東京支社、九州支店、名古屋営業所、技術研究所（堺市）、燃焼研究所（柏原市）、堺工場、小倉工場、中国上海事務所

3. 事業分野

当社は熱技術を核とする各種生産設備の設計・製造・販売・メンテナンスを事業内容とし、大別すると工業炉、産業機械、燃焼装置、先端材料製造設備に分類され、それぞれ以下のような製品群に整理されます。

(1) 工業炉

鉄鋼加熱・熱処理炉、非鉄金属加熱・熱処理炉、自動車・機械部品熱処理炉、雰囲気ガス発生機、ガラス熱処理炉、洗浄装置

(2) 産業機械

カラーコーティングライン、亜鉛メッキライン、

フィルム・テープ・印画紙製造ライン、オープン・ドライヤ、薬品・食品製造用空調設備、汚泥焼却炉、焼却灰リサイクル設備、脱臭装置、フュームインシネレータ

(3) 燃煙装置

オイルバーナ、ガスバーナ、蓄熱式バーナ、酸素バーナ、バーナ制御システム、補助機器

(4) 先端材料製造装置

新素材用高温炉、真空成膜装置、クリーンルーム

4. 研究開発

商品開発事業本部を母体とし、技術研究所、燃焼研究所という2カ所の研究所で、さまざまな開発テーマの実証試験を行っています。研究開発の第一義は何といても迅速な意志決定とスピードアップ。そのために優遇な人材を最優先で投入し、開発テーマごとにプロジェクトチームを編成しています。

5. 企業理念

「熱技術を核として新しい価値を創造し、これを通じて社会に貢献するとともに企業の繁栄と社員の幸福を実現する」という企業理念をベースにした当社は、まもなく50周年を向かえようとしています。

21世紀に向け私たちが目指すことは、今まで培った力をベースに、ウェル・コミュニケーションを持った技術を誕生させること。作業現場の快適性を追求する《人にやさしい》熱技術、エネルギー・環境保全問題に取り組む《地球にやさしい》熱技術、製品の潜在能力を高める《未来へと進化する》熱技術の3つをテーマにして、熱技術の現在と未来をみなさまと一緒に語っていきたく、と考えています。さまざまな場所に、さまざまなコミュニケーションで、世の中を支える技術を越えた“技術”を創造していく。中外炉は次の時代に向け“熱技術を人へ、地球へ、未来へ”。をテーマにしてスタートしています。

所在地：〒550 大阪市西区京町堀2-4-7

（文責：商品開発事業本部商品開発グループ
マネージャー 秋山 鉄夫）